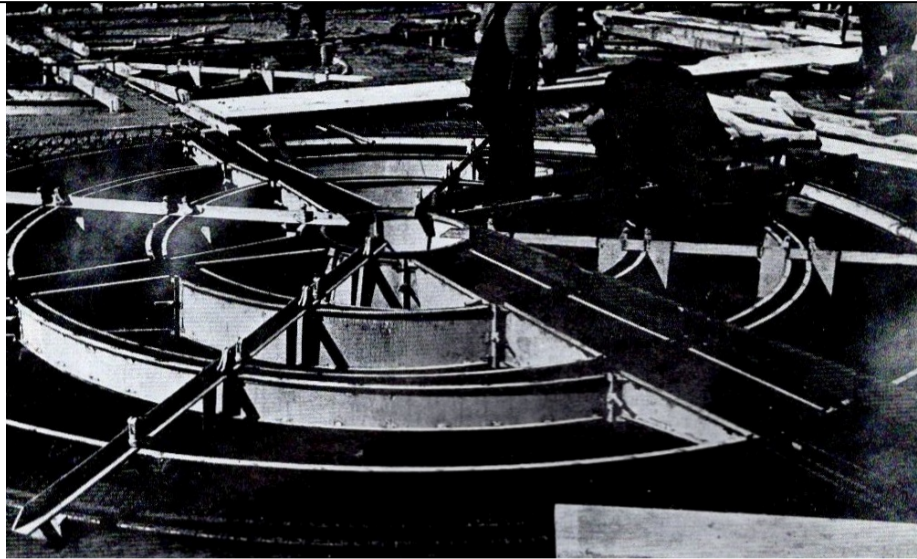


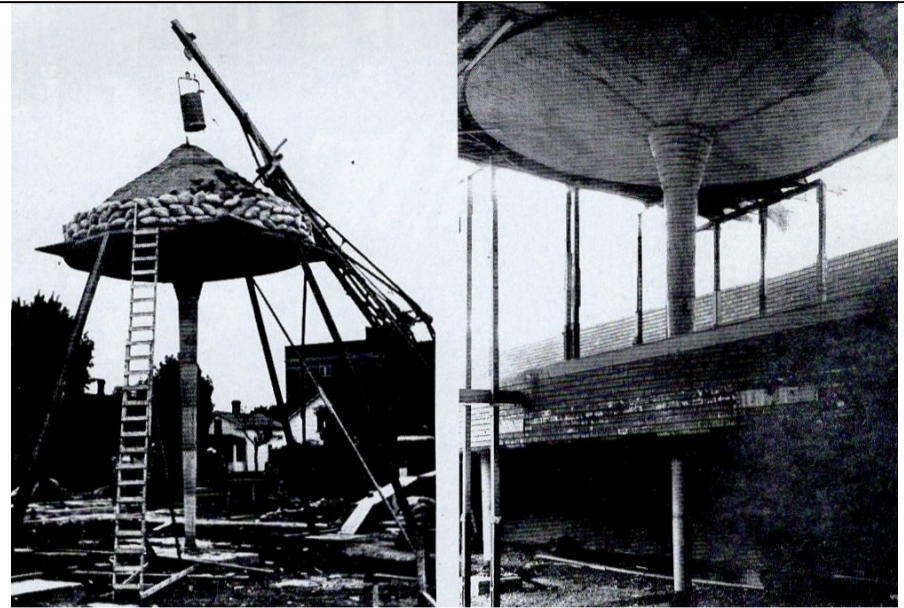
作品：ジョンソンワックス社 (96頁～104頁)

今号をもって完了します。

P96 C. ジョンソンビルディング

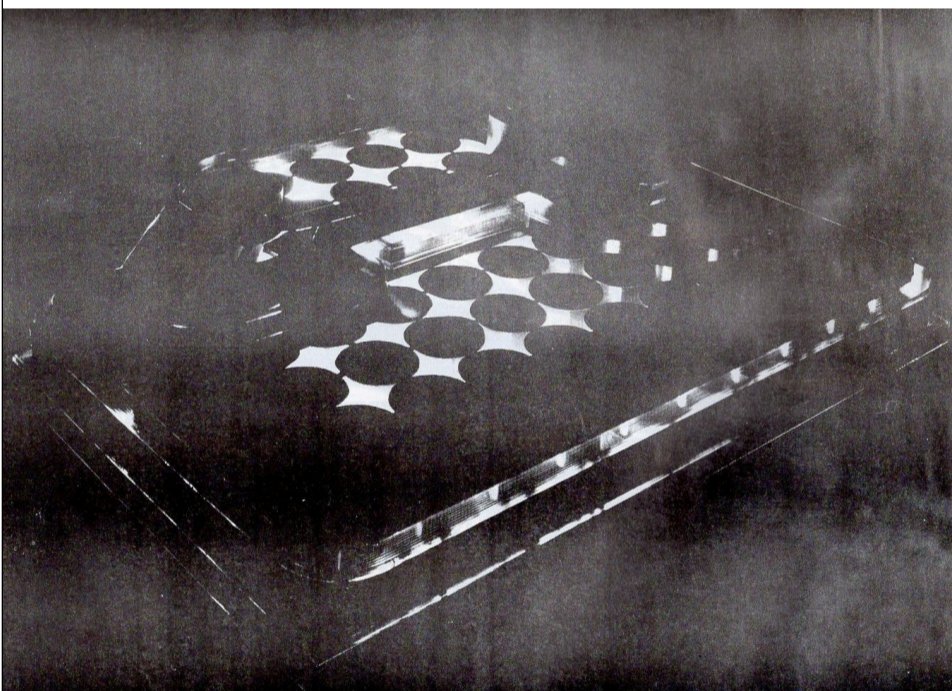


樹枝状カラムを構築するためのシートメタルフォーム



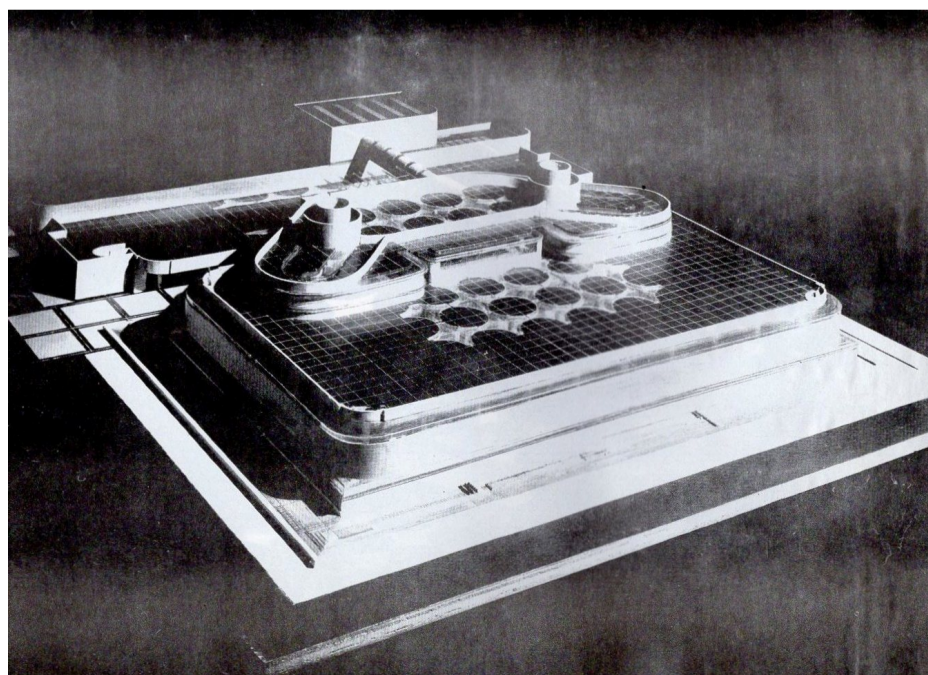
フル高さまで拡張されたテストカラム

P97 夜景

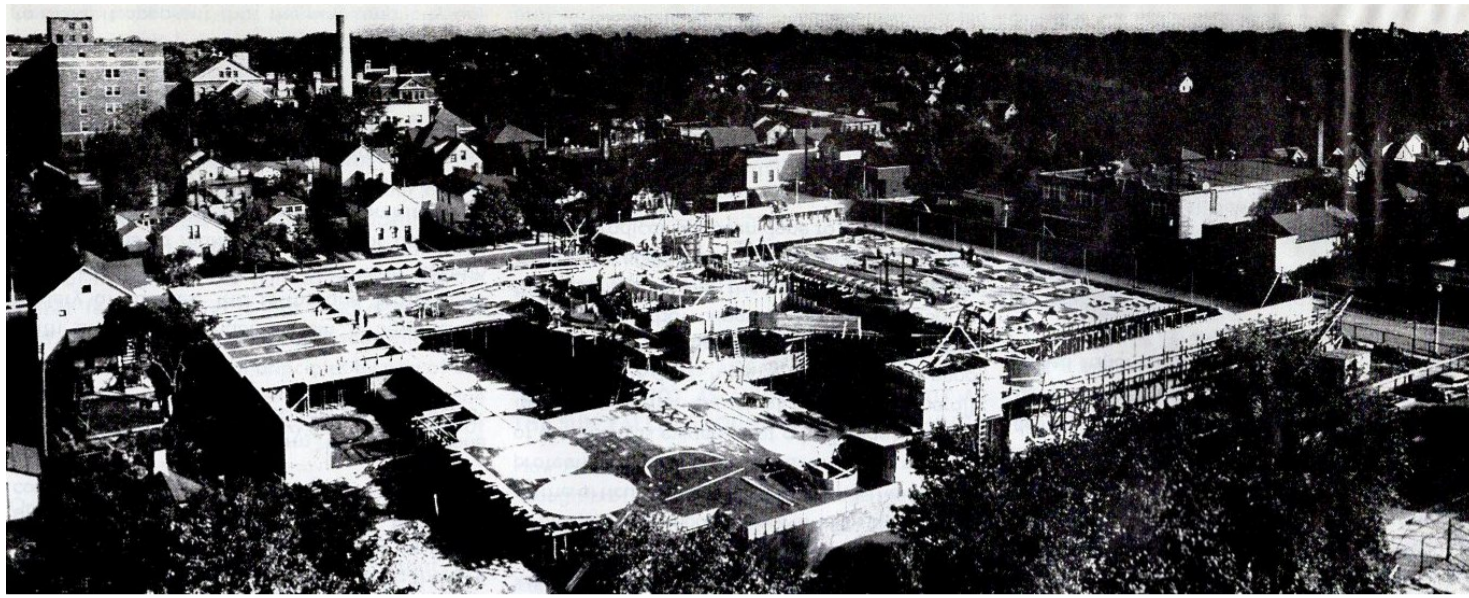


ウィスコンシン州ラシーンの S. C. ジョンソン社ビルの模型の夜景。内部からガラス管を通して光が差し込むように見えます。

P98 S. C. ジョンソン社ビルの模型

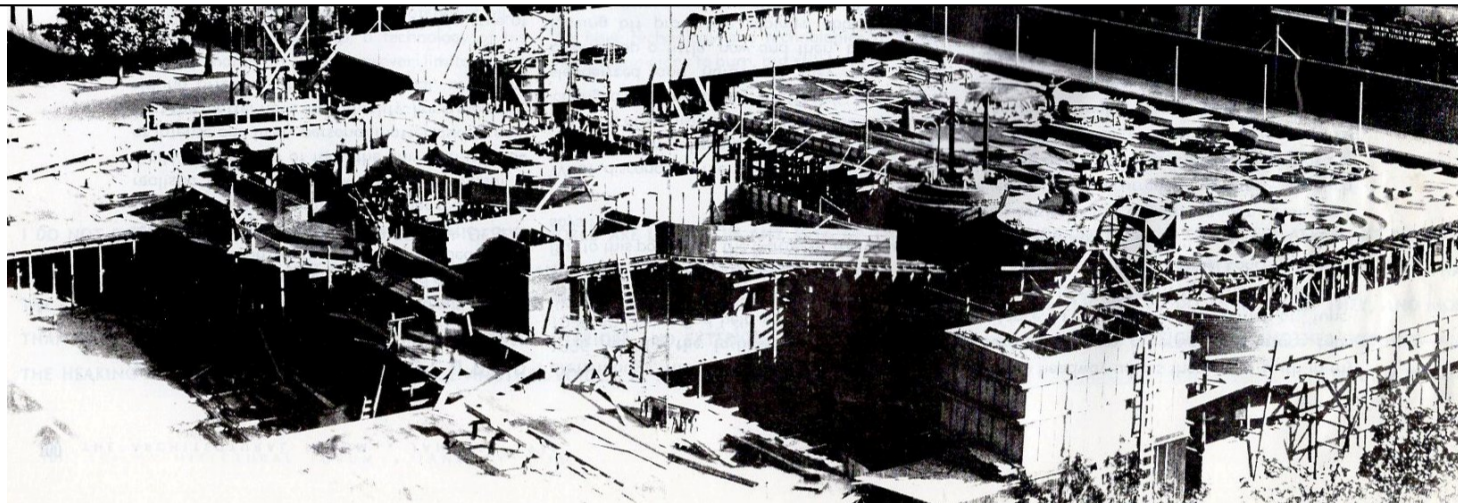


同じモデルを上から見た日中の写真。構造の全体像、舗装されたルーフデッキ。



建設中の建物の側道からの全景

P99 全体像



OCTOBER1937 撮影..

P100 FOREWORD CONCLUDED まえがき、結論

ほとんどの州の大学で若者たちと何度も会って来て思うのは、現実主義やリアリスティックに向かう「機能主義的」な流れの中で、現実が問題とされるところでは、ユーソニアン若者たちのために、ある種の鼻つまみ者的なポストが緊急に必要なだということだ。

リアリズムも普遍的なものの素材ではない。実のところ、普遍的なものは、強烈で生き生きとした個人的なものからできている。しばらくの間、気分を害するかもしれないが、一個人として個人的なことを言わせてほしい。

この号の建築に関する問題はすでに取り上げられています。The Forum は、建物、そのインテリア、建物、そしてそれらを備えた方法に似たモダンなファッションに目を向けます。

元々は 1895 年に私自身が設計し、1901 年までに現代的な進歩を遂げ、そして今日に至っている。

その時の斬新なアイデアは、20 世紀のデザイナーの世界へ、そして世界へと広がっていった。

困惑するほどさまざまな情報源からのラベルの変更によって、これらのオリジナル・デザインの形態と特徴は、学術的な消費に安全にするために一定の殺菌処理を施した上で、現代建築、現代工業デザインとなり、一般に「合理化」されています。私たちの偉大なアメリカの広告秩序に「加わった」手先によって管理されています。

少なくとも、1896 年という早い時期に登場した新しいシンプルさが、1938 年から 40 年にかけてのファッションブルな折衷主義かもしれない。その時、神は我々を助けてくれるだろう。

私たちは折衷主義の世界の水面下に沈んでしまったのだ。おそらく、それが唯一可能な世界なのだろう。

しかし、この可能性に対して、今号はまだ NO と言っている。

私を不安にさせるのは、単純に次のようなことだ。

建物や家具を計画する初期のアイデアや方法は、それほど良い方向に変化しているようには見えない。効果はスリム化され、強化された。保護笠木を取り去ったり、廃止したりした。保護用の笠木が取り払われ、欄干の後ろに隠して避難所の感覚を廃止したりすることで、時々少しだけ片づけている。

内装も外装も表面的に変わってしまった。内装も外装も、スチール、ガラス、合成樹脂の使用によって表面的に変化している。

表面は一般的に、素材の表現とその論理的な保護が省略され、少し滑らかになっている。

要素からの保護。装飾の深刻な否定は明らかだが、装飾の性質についての無知が一般的に蔓延している場合には、悪い否定ではない。

しかし、その否定に対する反応はすでに現れている。殺菌された、生活の標準化にしがみつく秩序がふさわしいと考えるように。この仕事は、国際的には「新しい学校」には十分なものとされている、それをさらに遠くへ運ぶために、根本的なことは何も行われていない。

このように歴史は繰り返すのだろうか？

否定は簡単。肯定は難しい。

近代美術館によって「国際建築」と名づけられた否定は、「実質よりも表面の反映」という私の非難が真実でない限り、前進することはできなかった。

スタイルとしての「機能主義」という概念は、なんと悪質なものでしょう！なぜスタイルに深くこだわるのではなく、表面的なスタイルにこだわるのか？「インテグラ |アオオーガニック」、「畏敬の念」という言葉は、私たちの理想に関する基本的な言葉である。そう、「工夫」-それは学問的な工夫であり、スタイルだけが必要なときにスタイルを作ろうとするものである。装飾がない？その付随的なフェティッシュは、知識人が「形は機能に従う」という教義から生み出した私生児である。

「形は機能に従う」とは、事実を述べたに過ぎない。形と機能は一体である」と言うとき、そのとき初めて、私たちは単なる事実を創造的な思考の領域に持ち込むのである。

| 現代音楽に旋律構造がないのは、「機能主義」に本物の装飾がないのと同じ理由である。


真のオーナメントとは、構造と機能主義が織り成す異質な旋律である。

日付は悪い建築者である。4250g「機能主義」を試したロシアは、それを一蹴した。それを近代建築と勘違いしたことは、ソビエトにとって悲劇だった。

<p>有機的なアーキテクチャの基本原則を実践するには、少なくともあと 10 年かかる（フォードに背中を押されたりしない限り）。ゆっくりと、しかし確実に、しばしば閉ざされたドアの向こうで、これらの原則は、私たちの大義の機能しない「機能主義者」たちによる、大げさに誇示され、ひどく誇張された実践に対して道を開きつつある。</p> <p>有機的な建築の理想に共感する皆さんには、その背後にある深い思いを説明するための私たち自身の真の思考が急務であるだけでなく、経験による実際の原則の適用のみが与えることのできる、手にする技術的知識のようなものも必要なのである。アカデミックな公式も、スローガン化された独断も、今の時代には役に立たない。有機的な建築とは、奥深い建築なのだ。このサーカセラにおける早すぎる宣伝は、一応の価値はあるが、問題が深ければ深いほど、早すぎる宣伝は好ましくないという事実があるようだ。大学教育の遡及はともかくとして、将来の建築家は、自らの手で、自らの技術を、自らの手で、自らの手で開発しなければならない。私たちの大義の機能しない</p>	<p>私たちは天才というものを、何か特別なものが押し出されたかのように語る。いや、その資質はそこにはない。天才を探せば詩人が見つかる。詩人とは何か？</p> <p>詩人とは何か--「詩人であるならば、あらゆる対象や性質に、それ以上でもそれ以下でもない、適切な割合を与える。</p> <p>「詩人は多様なものの裁定者であり、その時代と土地の平等者である。</p> <p>「彼は裁判官として判断するのではなく、無力な物事の周りに落ちる太陽として判断する。」</p> <p>アメリカには詩人が必要だ！神のみぞ知る.....利益追求者、車庫整備士、ジャーナリスト、教えられたことだけを教える教師、賃金奴隷は十分にいる。詩人がいなければ、この民族の魂は死んでしまう。私たちの魂に忍び寄り寒気を感じないのは、鈍感でなければならない。</p> <p>私たちには捨てるべきテクノロジーと技術、燃やすべき技術者がある。それでもアーキテクチャはない。</p> <p>彼ら全員に対して、私たちが持っているのは多くの建物を模倣した多数の建物、取るに足らない表情を模倣した、あるいは主義主張の表情を戯画化した、多種多様な建築物しかないのだ。</p>	<p>たとえ資本主義的な "運命的システム "に翻弄されようとも。</p> <p>たとえ資本主義的な「システム」が、自らの愚かな行き過ぎによって</p> <p>たとえ、資本主義的な「システム」が、自らの愚かな行き過ぎに挫折したとしても。防腐剤は建築を育てるのに十分な建築を成長させるのに十分である。文明の動機としての利潤追求は、文明の崇高な基盤とはならないようだ。</p> <p>しかし もし「システム」がそれに気づいていたら、特に資本家たちは有機的建築である建築において自らを苦しめるだろうと信じている。</p> <p>私自身、これからの 10 年に向けて、すべてを最高の状態と最悪の状態で経験しました。私たちの一生に残る建築に関して、何年も無駄になったり、妨げられたりしないことを願っている。</p> <p>フランク・ロイド・ライト-タリアセン-1938 年 1 月</p>
--	---	---

疑う必要はないが、世界の大部分と美しさは、世界のどの部分にも潜在している。一時的な出来事が何百万年も続くことを疑ってはならない。私が無限であり、宇宙が無限であることを疑ってはならない。インテリアにはインテリアがあり、エクステリアにはエクステリアがある、そして視力には別の視力があること、聴覚には別の聴覚があり、声には別の声があることを疑わないでほしい。保証は必要ない。ウォルト・ホワイトマン


P102 毎週のイベント

	<p>タリアセンフェローシップが活躍中。恒例の毎週のイベント。日曜日の夕方、メインリビングルームで音楽とディスカッション 1937 年 11 月</p>
---	--

P103 参考文献

<p>.. 機械の芸術と工芸 1897... 1912 年の日本の版画の解釈... 建築を原因として。1908 年 3 月の建築記録。。。オースグフェールテ バウテン ウント エントウルフェ。ワスマス・ベルリン 1910... フランク・ロイド・ライト アイネ・スタディ・ズ・ザイナー・ヴルディグン。C.アシュビー著。ワスマス 1911 年。。。アメリカの建築家、フランク・ロイド・ライトのライフワーク。H.T.H.WIJDEVELD 著。C.A.ミーズ。オランダ 1925 ... AUS DEM LEBENS - WERKE EINES ARCHITEKTEN. H. DE FRIES 著。E.ポラック。ベルリン 1926... 単行本。鮮やかな建築。パリ 1930... 単行本。H・R・ヒッチコック著。カイエダール。1928 年のパリ。。。単行本。帝国ホテル。東京 1923。。。単行本。アウスグフェールテ・バウテン。(S サイズ)東京 1919。。。モノグラフ。アウスグフェールテ・バウテン。(第 2 版)。ベルリン 1924... 建築の原因。素材の意味一窺。建築記録 1928。。。アーキテクチャに関する 2 つの講義。シカゴ美術研究所 1931 年。。。現代の建築。1931 年のプリンストン講義。。。自伝。ロングマンズ グリーン 1932...。消滅する都市。ペイソン 1932 年。。。タリアセン フェローシップの目録見書 1932 年。。。建築と現代生活。建築の過去と現在のいくつかの側面。ハーパーと兄弟 1937 年。</p>	<p>P103</p> <p>オンセイヤーズと言う！大地の言葉を掘り起こし、模型を作り、積み上げよ。長い間待たなければならないかもしれないが、必ず使えるようになる。材料がすべて準備されたとき、建築家が現れるだろう。</p> <p>建築家たちは必ず現れる！あなたがたに誓って、彼らはあなたがたを理解し、あなたがたを正当化する。あなたがたに誓って、彼らの中で最も偉大なのは、あなたがたを最もよく知り、すべてを支持し、すべてに忠実な者である。</p> <p>ウォルト・ホワイトマン</p>
--	---

P104

<p>正方形の神々しさを唱え、1つのものから、側面から、古いものから、新しいものから、正方形から、完全に神々しく、堅固な 4 つの側面、すべての側面が必要である。1! 古今東西の時間。ウォルト・ホワイトマン</p>	 <p>赤は無敵だ。それは血の色であるだけでなく、創造の色でもある。芽吹く植物を生命で満たし、被造物のすべてに暖かさを与える、自然界で唯一の生命を与える色である。</p> <p>ティミリアゼフ 植物生理学者</p>
---	--

P S. 2023.5.6 より「FORUM は、1938 年 1 月号で フランク・ロイド・ライト、彼の新作・未発表作 品に特化した号」を翻訳を開始し今回 8 号、12 月のこの号をもって終了致します。普段洋書は写真を見たり、タイトルや気になるところのみ訳してみたりしてしていました。今回手元にあった FORUM が大変古い本でライト特集だったので興味がわき、何が書いてあるか知りたくなり、翻訳ソフトを使い訳してみました。ところが訳文を読んでみると表現がおかしなところがあり再チェックをしたりしました。ライトの文章は独特の言い回しや表限をするので難しいと故遠藤楽さんから聞いたことがありました。またホワイトマンの詩も同様です。稚拙な文面で失礼致しました。ご高覧ありがとうございました。